



日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R.1テーマ
ロータリーのマジック

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	古本良子	幹事	谷野秀之	会報委員長 上野宗久

第1900回例会 2024年10月22日(火)

2024年11月26日発行 第1700号

本日のお客様

張 曉婷様(深谷 RC 所属 米山奨学生)
 向井宏倫様(地区米山記念学友委員 鶴ヶ島 RC)
 森 健二様(飯能 RC 会長) 大崎光二様(飯能 RC 幹事)
 小宮俊光様(寄居 RC)

会長の時間 古本良子会長

本日は、大勢のお客様に御来訪頂き心より感謝申し上げます。また、米山奨学生の張曉婷様、卓話を楽しみにしております。当クラブにも、元米山奨学生でありました李濬姫会員がいらっしゃいます。お住まいは都内ですが、日高 RC の会員になって下さいました。張曉婷様に於かれましても、将来日本と中国の友好の懸け橋となって下さるよう祈念致します。

さて、少しですが本日の卓話に先駆け、米山梅吉翁に関するお話をさせていただきます。ここにいらっしゃる皆様は既に御存知かと思いますが、日本に於いてのロータリークラブを初めて設立した方です。三井銀行常務取締役時代、訪米の際にロータリークラブの存在を知り、その奉仕という理念に共鳴し日本初の東京ロータリークラブを発足、初代会長を務められております。今日我々が国内でロータリー活動をする上で、大切な基盤となる原型を築いた方でもあります。そういった偉大な功績を称える為、昭和44年3月26日、財団法人米山梅吉記念館が静岡県駿東郡長泉町に設立されました。ここでは米山梅吉翁の貴重な遺品等も展示されており、時を超えてその思想に触れられる場となっております。当クラブとしても、いつかここへの旅行などを企画しても良いのかとおもいます。『米山記念奨学会』について再勉強というか、今一度深く考えてみたいと思いました。



幹事報告 谷野秀之幹事

地区事務所より

・2024~25年度 地区大会案内(パンフレット個別配布)
 【大会1日目】11月23日(土)
 会場：熊谷スポーツホテル PARK WING
 参加対象：クラブ会長・幹事、地区委員長、副委員長他
 本会議、RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会

【大会2日目】11月24日(日)

会場：行田産業文化会館(ベルプラス)

参加対象：全会員 12:00 登録受付 13:00 開会

～移動例会のお知らせ～

10月29日は、日高市民まつりに先駆け『お好み焼き試食・検討会』を実施致します。例会場所が変更となりますので下記の通りお知らせ致します。ご確認下さいませようお願い致します。

日時 10月29日(火) 夜間例会 点鐘18時

場所 ガレージMEロードスター 町田秀雄会員宅

卓話 張 曉婷様(米山奨学生 深谷 RC 所属 立正大学在学)

～チワン族について～

皆様こんにちは。私は中国の広西チワン族自治区出身です。御存知の方は少ないと思いますが、中華人民共和国南部の自治区で、中国最大の少数民族チワン族（壮族そうぞく、チワン族とも）の原住地でありませぬ。隣の広東省と併せて「両広」とも称し、首府は南寧市です。地理的に説明しますと、西は雲南省、北は貴州省、湖南省、東は広東省と接し、南はトンキン湾に面します。南西はベトナムと国境を接し、北部には東西に南嶺山脈が走り、湖南省との境をなしております。珠江の流域が区の内陸部の多くを占め、亜熱帯性気候で、二期作・三期作が可能です。大変著名な観光地『桂林』が東北部に所在しております。ベトナムが隣ということもあり、来日当初はよくベトナム人と間違えられました。私自身は、中国少数民族のうち人口は最大といわれるチワン族です。独自の言語『チワン語』がありますが、私は話すことができません。都市部に住むチワン族は、日常的に中国語(北京語など)を使用しています。伝統工芸として、五色の糸で美しく刺繍を施した『壮錦』が有名です。図案が精巧で美しく、現在も生産されております。チワン族は、昔から手織布の生地を使って多種多様なデザインの服を作ることが得意でした。藍染めなどの染色技術も伝統的に行っております。私はまだ一度も着たことが無いのですが、いつか故郷へ帰って着飾るチャンスをつくりたいと思っています。食文化ですが、米食中心ではありますが、一年を通じて野菜がとれる環境にあり、白菜、瓜類、豆類などの野菜を多く食べる傾向にあります。名物といえば『螺螄粉(ルオスフェン)』という辛いラーメン(ビーフン)があります。広西チワン族自治区省柳州市というところの名物で、タニシと黒豚とさまざまなスパイスに酢とラー油を加えたスープに麺(ビーフン)を入れるのが基本のラーメンです。独特の臭いがありますが、大変美味しいです。たまに帰国して食べてみると「こんなに辛かったっけ？」となってしまいます。日本ではあまり辛いものを食べないので、身体が順応できなくなってしまいました(笑)。最後に、チワン族の伝統文化について説明させて下さい。チワン族は、音楽が大好きで、歌が上手で、幼い頃から民謡を学び、嬉しい時に唄い、辛い時にも歌を唄い、生活の喜怒哀楽をすべて歌声で表すことができるといっても過言ではありません。歌を歌うのはチワン族の人々の生活の一部となっており、歌の民族とも呼ばれています。中でも『恋』が地元民謡の永遠のテーマになっています。チワン族には、若い男女の間で『対歌(たいが)』と呼ばれる歌の掛け合いで恋人を探す習わしがあります。大変美しいやりとりですので、皆様にもいつか機会がございましたら、是非目の前でご覧になって頂きたいです。



～留学生活での学びと、今後の目標～

2023年4月から、立正大学大学院社会福祉学科で学ばせて頂いております。私の研究内容ですが、日本国内で生活する外国籍の高齢者が実際にどのような福祉を受けられるのか等を調査しております。インタビュー形式で調査するのが主ですが、時には福祉施設へ出向き、実際に高齢者の皆様の御世話などもさせて頂いております。皆様の主だった悩みとしては、言葉の壁が一番大きいように感じます。言いたいことが上手く言えず、実際にして欲しいサービスを受けられなかったという方もいらっしゃいました。こういった寂しい案件を少しでも減らしたくて、外国人高齢者に役立つ情報や、支援の在り方を掲示できるよう、現在は論文執筆活動に励んでおります。これまでに多くの日本の方と交流させて頂き、多くの文化を学ばせて頂きました。留学中に会った仲間、友人、ロータリアンの皆様には本当に感謝しております。私の今後の目標(夢)は、こういった学びを少しずつですが、社会に還元して行く事です。御蔭様で、日本国内の企業から内定を頂いておりますので、来年からは社会人としてそういった活動を行うことが出来ます。米山奨学生として恥ずかしくない活動をしたいと思っています。今後とも応援を宜しくお願い致します。

出席報告	10月22日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	10/1 修正率
	昼間	18	13	2	5	68.75%	62.5%

ニコニコボックス報告 13名 合計金額 20,000円 累計金額 134,000円